

なまえ
名前

消してかく

☆ 教科書の 40・41 ページを開きましょう。今までは、鉛筆やパス、絵の具などでかいて色を付けていましたが、この題材では、黒く塗った部分を消しゴムで消して、白色を浮かび上がらせながら、絵に表します。

準備：画用紙（ハつ切りの半分）、鉛筆（2Bまたは4Bがよい）、消しゴム、新聞紙

めあて：消してできた形や色の特徴を生かし、表したいことを思い付いて、消したり色を足したりしながら、絵に表そう。

1 画面を鉛筆で塗りつぶそう。

ポイント

- 2Bまたは4Bの鉛筆を使い、鉛筆をねかせて塗っていくと早く塗りつぶせるよ。
- 画用紙の向きを変えながら、塗っていきこう。
- 仕上げに、塗った部分をティッシュでこすると、色が均等になったり、余分な鉛筆の粉がとれて消しやすくなったりするよ。

2 いろいろな消し方をして、生まれてくる形や色を試して、表したいことを考えよう。

ポイント

- 試し紙を使って、「強く消す」「弱く消す」「細く消す」「太く消す」「円を描くように消す」などいろいろな消し方をして、どんな形や色ができるか試してみよう。
- 消した部分に鉛筆で色を足してみると、どんな感じになるかも試してみよう。
- 消したい色を足したいしてできた形や色から、表したいことを考えよう。

◎ 何が表せそうかメモしよう。

消し方	もの・こと
例 弱く	流れ星の光

消し方	もの・こと

3 思い付いたことを絵に表そう。

ポイント

- 鉛筆でかくことが難しいほかした表現やかすれた表現を生かしていくといいですね。
- 何度も繰り返し表現して、納得のいく一枚を表しましょう。

4 活動の感想や、どんな表現ができたかをまとめよう。

[]